

# 園長 だより

No. 2

## 「運動会・クラス通信保護者感想」

園長 小林 淳一

台風接近にともない体育館で実施となりました。ほがらか森の演技や園児のお世話をしてくださった大鳥小の子供と職員の皆様、あたたかい声援を送ってくださった保護者・ご家族の皆様に、感謝申し上げます。また、お手伝いいただいた保護者の皆様、大変にありがとうございます。

運動会の感想をありがとうございます。子供の成長の喜び、競技や演技の感想、会場・運営、交流について、園や先生に向けての励ましの言葉等々をいただきました。また、ご意見等につきましては、来年の運動会にいかしていきたいと思えます。

クラス通信のご感想もありがとうございます。

\*運動会保護者感想(一部抜粋)

### ★運動会

#### ○年長組

- ・二年続けて、ほがらか森では蝶役だったが、昨年も上手に踊れたと思っていたが、今年は踊っているというより、役になりきって演じていると感じられた。他の子も、カブトムシ・ハチ・木の精になりきっている表情を頼もしく感じた。
- ・運動会の最中は、興奮状態でお友達を真剣な顔で応援し、少し大人っぽさを感じた。ほがらか森では、練習の成果がしっかり出ており間違えることなく踊りきった息子の表情はとても誇らしかった。幼稚園最後の運動会。二年前には、このような息子の成長を想像できなかったが、とてもよく頑張ったと思う。
- ・二週間前の保育参観で見た「ほがらか森」は「大丈夫かな」という印象だったが、本番はみんな役になりきってとてもステキだった。年長さんにもなると、こんなにいろんな事が出来るようになるのかと改めて、感心した。



- ・ほがらか森でハチ役になった時、ちょうちょが良かったな～と言っていたのだが、



が、ハチのダンスは娘にぴったりで特におしりをふりふりする所は、すごくかわいかった。毎日、家で歌いながらダンスの練習をしていて、たまにちょうちょを踊って、そのダンスを見て、運動会当日をすごく楽しみにしていた。本番でも、とってもかわいく上手に踊っていて、全体を通して初めて見たが、とても素晴らしいオペレッタだった。

- ・ほがらか森では、自分のなりたかった木の精になれ、練習から張り切っていた。家でも何回も練習していた。年少の時は、この演技を年長で出来るのだろうか...?と心配していたが三年間で大きく成長した事にとっても嬉しく思う。
- ・去年はかけっこのみ。お友達が楽しそうにするダンスも座り込んで石灰いじり。来年、オペレッタなんて絶対できないとあきらめていた。運動会当日、家族みんなで今年もため息つくのかなと思いきや、ラジオ体操から、それっぽく出来ている。親の心配をよそにオペレッタもちゃんとやってる！！しかも楽しそう。初めての運動会が楽しく思えた。
- ・本人はカブトムシをやるのが、本当に楽しいようで運動会までの日々や終わった今でも毎日やり続けている。最後の挨拶も無事やり遂げることができ、成長した姿を見て嬉しかった。
- ・入園して、馴染んでいるのか不安だったが、子どもが自分なりに適応出来ている様子を見て、安心した。
- ・一才の時、初めて「ほがらか森」を観た時から、「カブトムシ」に憧れていた。家でも一生懸命に練習した。本番で力強くダンスをする息子を見る事ができ、感動で胸が熱くなった。
- ・事前の保育参観での練習する様子も見ていたため「振り付けを間違えないかな」「みんなとズレずに踊れるかな」と心配していたが、本番を見てビックリ。ほぼ完璧に、しかも周りにズレずに踊っていて感動した。私に似て本番に強いタイプなのかも知れない。



## ○年中組

- ・親も子も一日充実した日になった。子どもの成長を感じられた運動会だった。オペレッタでは、みんな一生懸命踊っていて、見ている方も感動していた。
- ・毎日運動会あと何回寝たら？と、とても楽しみにしていた。当日は誰よりも一番早く起きて仕度をしていた。体育館で楽しそうに踊り、かけっこをして、お姉ちゃんと帽子をかぶりかくれんぼをしている姿も微笑ましかった。
- ・親子競技を楽しめた。ずっと頑張っていたほがらか森も一生懸命踊っている姿に感動した。頑張ったからぴかぴかのメダルをもらえたと喜んでた。
- ・体育館での運動会だったが、子どもたちの頑張る姿を間近に見られ、とてもよかった。特に子どもも楽しみにしていたほがらか森。上手に踊っており、沢山練習したんだらうな...と思うと、少し涙が出た。毎年違って見えて、毎回感動している。
- ・みんなに見に来てもらえる運動会を、とてもとても楽しみにしていたようで、体育館か外かは、全く関係なかったみたいだ。小さな子どもにとっては、雨で延期するより、当日予定通りに行える事の方が大事なのだ。子どもは「かくれんぼ」でしっかり隠れる！事に命をかけていた。家でも何度も練習して、見つからないコツをいっぱい教えてくれていた。当日は、私も子どもを見つけられずに上手く隠れられてしまった。とっても楽しかった。



んぼ」でしっかり隠れる！事に命をかけていた。家でも何度も練習して、見つからないコツをいっぱい教えてくれていた。当日は、私も子どもを見つけられずに上手く隠れられてしまった。とっても楽しかった。

・子どもの出番が多くて飽きることがない時間でとても有意義だった。家でもしょっちゅうダンスをして

いる。

- ・どの学年も生き生きやっている姿がかわいかった。おうちの前でお友達や姉と一緒に踊っていた「ほがらか森」最後まで、精一杯踊っている姿に感動した。「成長したなあ〜」と常に感じていた。小学生の戦いも面白かったあーと言っていた。
- ・負けて悔しかった綱引き、踊り切ったほがらか森のちょうちょ、たんぼぼの時の運動会から一年、とても成長を感じた。
- ・あまり練習に参加出来なかったのが、少し心配していたが、堂々とダンスをしている姿に涙が出そうになった。大人の真剣な綱引きも面白かった。

- ・かけっこも綱引きも「ほがらか森」も全ての競技に一生懸命に取り組む姿にと



ても成長を感じ嬉しかった。去年はちよっとふざけてしまっただけで疲れた。とやらなくなってしまったり…。一年でこんなに変わるんだなと立派なお兄さんになっていた。

- ・ほがらか森では、指先から表情まで気を遣って演じている子どもたちに感動した。最後にもらった光るメダル、とても喜んでいました。

- ・昨年はお弁当後、疲れてしまい参加出来なかったが、今年はしっかり参加出来、ハチ役を踊っていたのに驚き、成長を感じた。

- ・娘は今まで何年も見てきたほがらか森に、ついに自分が出る時がきた。もう何日も前から、あと何回寝たら本番かを毎日聞いて楽しみで楽しみで仕方がない様子だった。私も楽しみな気持ちはもちろんだが、同時にまだまだ小さいと思っていた娘がほがらか森を踊る大きさになったんだなと、改めて成長を実感した。ちょうちょの羽を自分で作れたことがとても嬉しかったようだ。私が、衣装をたたむ手伝いをしたときは、「ぐちゃぐちゃじゃなくて、優しくたたんで」と言いとても大事にしていた。
- ・年少の時からほがらか森を踊るのを楽しみにして娘。当日は、午後から疲れも出たのかぐずりはじめ「ちょうちょ やらない。」と言いだした時は、ハラハラしたが、衣装を着てしっかり踊る姿を見て成長を感じた。
- ・息子は、残念ながらほぼ参加せずの運動会だったが、あたたかく、楽しい運動会だった。

## ○年少組

- ・的確な指示や誘導のおかげで、子どもたちはもちろん、私達保護者も落ち着いて参加出来た。子どもたちの競技は全て見応えがあったが、中でもかけっこは、年少・中・長と進むにつれて成長の様子がはっきり見え、来年には、こんな風になるのか…と想像する楽しさもあった。
- ・初めての運動会だったので、とても



楽しみにしていた。かけっこも1番にかけてきて、ダンスも本番はしっかり踊っていて、とつてもとつても頑張っていて成長が感じられてうれしかった。

- ・今回の運動会は、ダンスやかけっこもきっと出来ないんじゃないかと心配していたのだが、まさかのダンスもできていたり、かけっこも出来ていたり、私達は感動の嵐だった。
- ・普段、幼稚園のことをあまり詳しくお話してくれる事がなく、運動会は、何をやるのか、その日、どんな練習をしたのか、本人からはきちんとした説明がないまま迎えた運動会だった。母としては、「楽しみ」と同じくらい「不安な」気持ちだったが、始まってしまえば、本人は目の前の「やるべき事」に一生懸命取り組んでいたように思う。
- ・天候が悪く体育館での開催となってしまったが、日頃の練習の成果を見ることができて、非常に充実した運動会になった。祖父母も参加できるなど、プログラムもとてもよかった。



・初めての運動会、とてもいい思い出になった。

・初めての運動会で祖父母を招くことになったが、どの競技も楽しく観賞出来たようだ。兄姉の競技、祖父母との交流の時間ももうけていただき、年中・長さんのオペレッタも...、表現発表が運動会で行われると思っていたなかったので、感動した。

- ・開会式では、「ママがいいー」と離れなくて、困ったのだが、仏さまの歌が流れると、きちんと両手を合わせて歌っていたので、ビックリした。お風呂ジャブジャブ、サモア島でも、最初ぐずぐずだったのだが、音楽が流れると嬉しそうに踊っていたので、歌うことや、踊りが好きで、幼稚園でもたくさん練習したんだなと嬉しく思った。
- ・幼稚園初めての運動会。そして最後の運動会。我が家にとって感慨深いものがあった。ほがらか森は、家でもスーパーでも、公園でも、急にどこでも踊りたくなってしまうほどで、こうするんだよと教えてくれ、自信を持てたのか、堂々としっかりと踊れている姿に泣きそうになった。弟は練習では、あまり動いてくれなかった踊りを、当日だけやってくれて感動した。手つなぎかけっこは、去年の写真と見比べ、成長を感じた。
- ・雨天のため体育館だったが、思っていたほど、悪くなかった。
- ・親子参加型の競技は楽しく、沢山あると嬉しく思う。



・初めての運動会。楽しそうにニコニコ笑顔で踊っている姿を見ることができ、親も嬉しい一日を過ごすことが出来た。

・私がいると何も参加してくれないかも...と心配していたが、最後まで、しっかり参加出来ていて、数ヶ月で、とても成長を感じることができ嬉しかった。

- ・初めての運動会をすごく楽しみにしていて、何日も前から、「あと〇回寝たら運動会だよ」と数えていた。体育館での開催になってしまい残念だったが、子どもたちの楽しそうに競技をする姿を見て、場所は無関係ない、どこでやっても楽しめるんだなと思った。おふろじゃぶじゃぶでは、本気で走るすばしっこい娘をなかなかつかまえられず、親も必死で走って、親子で楽しんだ。
- ・最初は雰囲気や飲まれてしまったのか、ぐずってしまったが、「サモア島のダンス」のころには、機嫌が直って可愛らしいダンスを見ることができた。自宅でも音楽をかけると踊っており、私に「こうやるんだよ」と教えてくれる。
- ・保育園の頃は、親を見つけて泣いて固まるだけだった息子がお友達と笑顔で踊る姿は本当に感動した。午後の競技には、疲れからか参加を拒否していたが、それでも温かく接していただいたり、人の優しさにふれ、子どもなりに感じる事があったようで、家でもお話ししている。
- ・あいにくの天候で体育館だったが、近くで子どもたちの楽しそうな姿を見られて良かった。
- ・園児と保護者の数に対して、狭く感じたが、子どもの頑張っている姿に感動した。
- ・背の順に並んだり先生の所に集まったり、ダンスをしたりとそんな事も出来る様になったんだと感じることができた。

## ○どんぐり組

- ・短い時間ではあったが、小学生のお兄さんお姉さんが作ってくれたトンネ



ルを楽しくくぐったりお友達と挨拶したり、元気に参加出来てよかった。

- ・とても楽しかったようで、もっと出たかったーと泣きわめいていた。

## ★クラス通信

通信は、子どもの今の姿にスポットを当てて、お伝えできたらと考えています。そこには、家庭では見せない姿があるかも知れません。それは、ご家族にとっても新鮮であり、子どもの輝きを感じられることでしょう。

子どもの何気ない行動、そして先生や友達との関わりを宝物の様に価値づけたいと考えます。

## ○年長組

- ・自分の子のまわりのことしか、いつも知ることがないので、クラス全体の様子を知る、いいきっかけになる。
- ・日頃見えない園での生活が知ることができ、嬉しい。
- ・幼稚園の生活をあまり話さない息子なのでクラス通信を見て、初めて知ることも多々ある。園での生活が分かりやすく書いてあるので、息子との会話のやりとりに、とても役立っている。



・息子が教えてくれることが、今一分からないことは通信を読んで、「こういうことだったのか」と確認できる手段なので助かる。

・子どもの言葉だけでは伝わらない(毎日何をしているか)を細かく書いてあるので読んでいてと

ても楽しい。

- ・いつもかわいいイラストに分かりやすい保育での様子を書いていただき、毎回読むのを楽しみにしている。娘に読んであげると自分の事が書いてあることにとっても嬉しいようだった。そこから、話題が広がり、幼稚園での様子も自分から話してくれる事も増えた。

- ・毎週の通信は、日々どんなことをやって過ごしているのか詳しく書かれていて、とても楽しみにしている。特に自分の子どもの名前が出ていると本人にも話を聞いて、幼稚園の話題のきっかけとなる。

## ○年中組

- ・普段の幼稚園での子どもたちの生活を知ることができて親としても嬉しい。
- ・毎回事細かく書いてあり、毎週とても楽しく読ませていただいている。子どもも「何て書いてあるの」と一緒になって読んでいます。子どもたちのやり取りも読んでいて楽しい。
- ・普段仕事をしている私でも、このクラス通信のおかげで、クラスのみんながどんな風にどんな活動をしているのか分かる。毎週読むのを楽しみにしている。
- ・クラスの出来事がよく分かり、重宝している。仕事の都合上あまり関わる事が出来ないため、今何をやっていて、クラスでは何が流行っていて、といろいろ知ることが出来て、助かっている。上の子の時も同じだが、毎年、毎回ファイルに入れてとってある。
- ・里山に行く日、園外保育の日程等を明記しているのでとても助かる。
- ・毎週配布されるので、楽しみで安心して園に預けられる。
- ・毎週、父母ともに楽しみ読ませていただいている。子どもたちの様子や出来事がわかりやすくありがたい。
- ・細かく子どもの名前を挙げて下さっているので、出ていると嬉しくて、家族も読んでいます。
- ・名前を書いてくれたり、細かく活動内容や様子を書いてくれるので、園生活が想像できて読むのが楽しみだ。子どもも、自分の名前が出てきたと確認して、出ているときは何度も読まされる。
- ・幼稚園で何をしたらか全く教えてくれないので、クラス通信はとても助かる。子どもたちの顔を思い浮かべながら楽しく読んでいます。
- ・娘の名前が出てくると、こんなことがあったんだとか、こんなことしたんだとか、普段の幼稚園での様子が分かるのが有り難い。あと、クラスのお友達のキャラクターが分かってきて、読んでいてもみんなの様子が想像できて楽しい。
- ・時には、自分の娘は、こんなことを言うだーや、こんなことが出来る様になったんだーと新たな一面を知ることが出来るので、毎週楽しみにしている。

## ○年少組

- ・沢山の園児が居る中、日々の細かい出来事を教えて下さり、園生活を想像する事ができる。
- ・クラスのお友達の様子やどんなことをしているのかが分かるので、驚きや発見



があり、いつも、楽しく読ませてもらっている。

- 普段その日にあったことをなかなか話してくれないので、クラス通信に助けられる事がとても多い。
- 教室の様子がうかがえて非常によいと感じているが、先生方の負担が大きいのではないかと気になっている。
- 毎週、子どもたちの様子を記録して下さり、ありがたい。
- 毎週細かく様子が書かれていて、毎日、園での様子が分かって、たまに、自分の子どもの名前が出てくると嬉しい。
- 毎週楽しみに読ませていただいている。ひつつき虫だった子が、私の見ていない時間を過ごしていることを(成長なのだが)、不思議な気分になる時がまだある。通信やFacebookを見て、子どもから聞きだせなかった事や、他の友達の様子もわかり勝手にお友達への愛着も湧いている。
- 毎週、クラスの様子を楽しみに見ている。
- 普段のクラスのことを知れて嬉しく思う。家で幼稚園の話をしないため、唯一の情報源だ。
- 家で幼稚園の様子をあまり話してくれないので少しでも分かるとうれしい。
- どの先生も丁寧にクラスでの様子を書かれていて、いつもすごいなーと思っている。名前が書かれていると、こんなことしているんだと、子どもの意外な姿を発見できるので、嬉しい。
- 普段目にすることのない様子を知ることが出来て興味深く拝見している。
- 一週間の出来事が分かりやすく記入されており、いつも楽しみに読ませていただいている。息子の様子も愛情たっぷり書いていただき、家族で喜んでいる。また、くじら通信もクジラ組の様子がよく分かり、毎日楽しみにしている。
- 何気ない園児たちのエピソードを読む度に心が温まると共に、「こんなことを考えているんだ」と気付かされる。特に自分の子どもの事が書かれているとドキドキしてしまう。
- 娘の名前はあるかな？と、いつも楽しみにしている。幼稚園での子どもの発言や行動は、家とは違ったりするので、それを知ることができ、とても良い。
- 毎週びっしりと日々の様子を教えて下さり、有り難い。
- 幼稚園での様子が書かれているので、毎週楽しく拝読している。
- 先生の手書きの文章に絵が添えられていて、その時の様子が想像でき、毎週届く通信は楽しみにしている。